

学力向上に効果のある取組事例

由布市立挾間小学校

⑪校内研修などによる授業改善

取組の具体①

◆授業改善

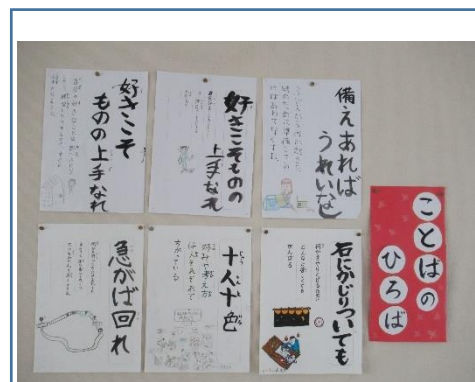
- 児童が意欲的に取り組む授業展開の工夫
 - ・課題解決型、活用型の違いを意識した授業展開
授業のねらいに応じた授業展開を単元の中で効果的に組み合わせる。
 - ・適切なめあて、課題
見通しがもてるめあて 考えなくなる課題を設定する。
 - ・対話の位置づけ
ペア対話 グループ対話 フリー対話 全体対話を効果的に位置づける。
- 学びが充実するための手立ての工夫
 - ・ICTの活用
思考の可視化を中心に活用する。
 - ・ICTの活用以外
めざす姿（ゴールの姿）を児童と共有する。
グループの人数と構成を工夫する。



取組の具体②

◆学びをささえるもの

- 共感的人間関係の構築
 - ・ゆーふータイム
「人間関係づくりプログラム」を週に一回行っている。
自尊感情を高め、ソーシャルスキルの向上を図ることをねらいとしている。
 - ・いいところみつけ
児童どうしが相手を尊重する行動を認め合う場としている。
- 特別支援教育の視点
 - ・指導案への位置づけ
特別な支援を要する児童への支援を位置づける。
- 基礎基本の定着
 - ・語彙力
国語の教科書巻末「言葉の宝箱」を活用する。言語環境を整える。
 - ・計算力
作成した達成目標に向けて、毎日取り組む。
 - ・学習規律
全校が同じ取り組みをする。



基礎基本の徹底

「計算力」

	1年	
たし算(繰り上がりなし)	50問 3分	50
ひき算(繰り下がりなし)	50問 3分	50
たし算(繰り上がりあり)	50問 5分	50
ひき算(繰り上がりあり)	50問 5分	50
かけ算(九九)		100
わり算(あまりなし)		